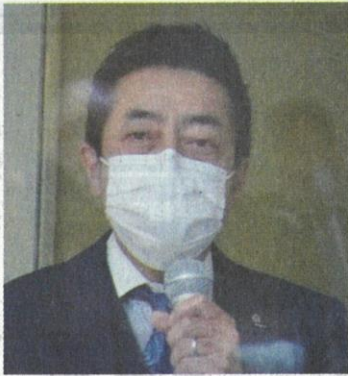


大ト協 働き方改革セミナー実施

越野運送・谷正運輸の社長が登壇

【大阪】大ト協が主催する「働き方改革セミナー」2024年に向けたスタートダッシュを切ろうと「セミナーが11日開催された。



越野社長

【大阪】大ト協が介専務理事が「改正基準告示については現在中央で検討されており、内容の方向性は年内には決定される」と聞いている。2024年まであと2年という中で、準備をしていかなければならない。各社、荷主も違いトラックの運行形態も違うので、これをすればすべてうまくいくというものはないが、自社の下

ライバーの今の状況を見て、働き方関連法案をどう対処していくかを個別に考える必要がある」とあいさつした。



谷社長

第一部は、大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター専

門家の昼間康裕氏が「2024年に向けて今取り組むべきこと」をテーマに、働き方改革関連法に関する法改正の基礎知識や、法改正をふまえた具体的な実務準備などを解説。

第二部では、事業者の取り組み例として2社が登壇。まず越野運送(大阪市都島区)の越野泰弘社長が、ドライ

援、業務の属人化の解消などの取り組みを紹介。

続いて、谷正運輸(守口市)の谷昇生社長が、労務・安全・環境の三位一体の取り組みとして、家族同伴OKの入社面接や車両のAT化、オールラウンドドライバの育成などを解説した。その後、パネルディスカッションが行われた。

長が、ドライバーの確保と運賃収入UPについて、健康経営の優良法人などの各種認証の取得や免許取得支

第三部は、府労働環境課の担当者が府の「労働環境改善事業」について説明を行った。

(木村麻理奈)